

社会環境システム研究分野(総合)

委員会からの主要意見

現状についての評価・質問等

- 科学的知見にもとづく政策貢献、社会貢献が計画どおりになされていることは高く評価できる。アジアハブとしての国際活動の充実も期待通りの成果。[事後]
- 論文発表、国際貢献など着実に成果を出している。また、外部予算などの研究費の獲得にも成功している。[事後]
- 論文発表等は急増した前年を下回っているものの、多彩な研究成果や網羅性とも申し分のない中期5年目の成果と言える。[年度]

今後への期待など

- 夫々、精力的に研究は行われているものの、多種多様な研究が行われており、総合的な観点をもっと出してほしい。[年度]
- 検討成果を社会実装した後の結果や評価がどうなっているか、実装後の検討結果をモデル等のさらなる進展、信頼性向上につなげるよう期待する。[事後]

主要意見に対する国環研の考え方

- ①社会貢献、国際活動について評価いただき、ありがとうございます。来年度からも引き続き学術成果と社会貢献を国内外に提供するように組織的な取り組みを進めてまいります。[事後]
- ②論文発表、国際貢献について評価いただきありがとうございます。外部研究資金の獲得については、ここまでの成果と体制を活用、発展させて次の中長期計画以降も取り組んでまいります。[事後]
- ③成果と研究の網羅性について評価いただき感謝いたします。第三期中期計画の最終年度として研究成果を体系化することに注力してまいりましたことを、平成 28 年度以降の次の中長期計画で活用してまいります。[年度]
- ④総合的な観点についてご意見ありがとうございます。社会科学で低炭素や資源循環などの環境研究分野の総合化を試みてまいりました。その総合的な視点を今後より明示的に説明するように心がけます。次の中長期計画での課題解決型「統合研究プログラム」で、ご指摘の点に注力してまいります。[年度]
- ⑤社会実装の支援研究は開始して間もない段階ですが、今後は継続的に研究連携を進める地域の推移をモニタリングし、モデルの妥当性、システムの効率性、社会への受容性等に関する検証作業を進め、必要な改善を行うことで、信頼性の向上や成果の拡大に努めます。[事後]